

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行・再発大腸癌における FOLFOXIRI + bevacizumab 療法における炎症性マーカーの有用性について
	研究対象者	2006 年 1 月から 2021 年 12 月に当センター大腸外科で原発切除を行った pStage I-III 大腸癌手術症例。 そのうちの BMI \geq 25 の肥満症例を対象とする。
	研究目的	さまざまな癌において炎症性マーカー (systemic inflammatory response) という採血項目から計算できる項目が予後に関連しているとの報告がある。進行・再発大腸癌の 1 次治療において FOLFOXIRI + bevacizumab 療法 (以下、FOLFOXIRI 治療) が標準治療の選択肢として使用されるようになってきているが、FOLFOXIRI 治療前の炎症性マーカーが予後に与える影響については明らかではない。本研究では FOLFOXIRI 治療前の予後予測における炎症性マーカーの有用性について検討する。
	研究方法	治療開始前の採血検査データのアルブミン値、白血球数、リンパ球数、血小板数などを算出し、それらから炎症性マーカーを計算し、その値の低値・高値の 2 群に分けて、の生存期間について検討する。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西 暦 2 0 2 3 年 9 月 2 5 日 ~ 西 暦 2 0 2 4 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[X] 総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目 (チェック [X] が入った項目を利用します)	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体 (具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他 (具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名 (臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[X] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[X] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[X] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[X] 看護記録、[X] その他 (具体的に記載: <u>手術に関連する項目</u>)
試料・情報を利用する者の 範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科 塩澤 学
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	国名と当該外国における個人情報保護に関する制度名または URL
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 消化器外科 (大腸) 塩澤 学 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2024 年 3 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	